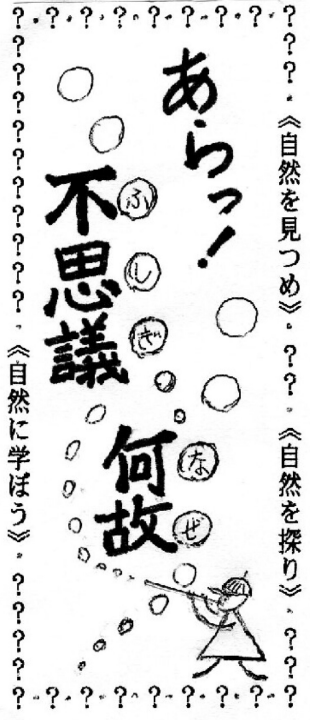


自然談議・科学談議



NO. 32 (通算32)

絵・文・題字 渋谷 一夫

富士山の謎 (2) 火山灰はガラス質

前号は、あの円錐形をした日本最高の秀麗な富士山が、何時、どのようにして生まれ、日本人の心にどう響いたのか概略を見てきた。また、富士山噴火による火山灰で、市を覆う「赤土」が誕生したことも見てきた。

今日は、その赤土の性質と自然現象との関係を見てみたい。

火山灰はどんな灰

赤土は「土」と言っているが、火山灰である。また、火山灰も灰と言っているが、木の灰とは違う。スコリアという黒っぽい軽石や岩石が、細かく砕けたもので、ガラスの破片みたいなものだ。

赤土は、この火山灰からできたものでガラス質と言ってもよい。細かい岩石の破片なのだ。だから赤土は、泥とは違って水をよく通し、浸水層を作る。降った雨水はすぐ地中に吸い込まれ、その下の帯水層まで浸透してしまふ。この赤土の微妙な透水性が、霜柱を作ったり、湧水を生み出したりするのである。

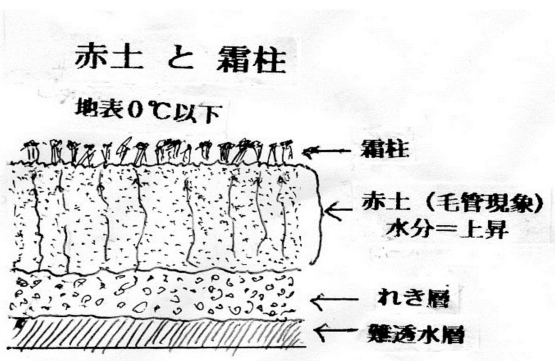
霜柱は赤土にできる

まず霜柱。赤土の地表面の水分は、地表が0℃以下になると凍ってしまう。だが、

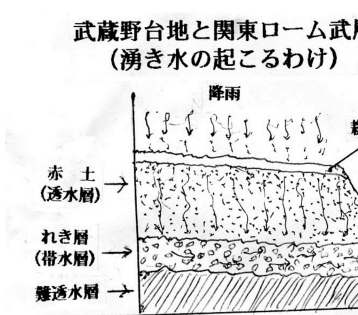
赤土は、この火山灰からできたものでガラス質と言ってもよい。細かい岩石の破片なのだ。だから赤土は、泥とは違って水をよく通し、浸水層を作る。降った雨水はすぐ地中に吸い込まれ、その下の帯水層まで浸透してしまふ。この赤土の微妙な透水性が、霜柱を作ったり、湧水を生み出したりするのである。

春一番の赤い風

毎年、2月下旬になると、春一番という風が吹く。赤い風ともいう。赤土の粒子は、火山灰として、約100kmも先から飛ばされてきたものなので、粒子が細かく非常に軽い。だから、空気が乾燥すると赤土が舞い上がる。これが赤い風だ。富士山の火山灰が関わる現象である。



赤土と湧き水



春一番という風が吹く。赤い風ともいう。赤土の粒子は、火山灰として、約100kmも先から飛ばされてきたものなので、粒子が細かく非常に軽い。だから、空気が乾燥すると赤土が舞い上がる。これが赤い風だ。富士山の火山灰が関わる現象である。

富士山と富士見市との関わりは、意外と多い。

山は恵みの一つだ。富士山と富士見市との関わりは、意外と多い。